
柏崎刈羽原子力発電所の新たなガバナンス体制の構築 ～KK運営会議の設置～

2025年6月23日
東京電力ホールディングス株式会社

はじめに

- ✓ 当社は地域の皆さまに対して理解活動が続けてきており、発電所の安全性への理解に一定の手応えを感じている一方で、当社の信頼性などについてご懸念やご不安の声をいただいている。
- ✓ こうした声を真摯に受け止め熟慮を重ねた結果、当社にはない視点や知見を外部の血として発電所の運営に取り入れる、新たなガバナンス体制を構築することとした。
- ✓ 具体的には、自律的改善に終わりはないという認識の下、社外の様々な分野の専門家と社内役員が一体となって発電所全体の運営を考え、監督する新たな組織として「柏崎刈羽原子力発電所運営会議（略称：KK運営会議）」を設置する。日々の反省も糧にして、安全対策や情報発信を含めた運営方針を皆で議論し、地元本位で安全な発電所を実現し、地域の信頼を得られるよう取り組む。

1. 柏崎刈羽原子力発電所の新たなガバナンス体制の構築

- ✓ **社外の様々な分野の専門家が、社内役員と一体となって発電所全体の運営を考える新たな組織**として「柏崎刈羽原子力発電所運営会議（略称：KK運営会議）」を設置
- ✓ 他電力経営者と国内有識者、海外有識者が、安全性向上の取り組みや情報発信を含めた発電所全体の運営について、高い独立性と透明性をもって監督
- ✓ KK運営会議は**取締役会に対して直接提言する権限**を持ち、**取締役会はその提言を最大限尊重**

外部の視点や知見（外部の血）

他電力経営者

東北電力・中部電力
原子力経営経験者

国内有識者

学識者・地域経営者 等

海外有識者

外国規制部門経験者
原子力技術者

KK運営責任者

小早川社長
福田原子力・立地本部長
稲垣KK所長
柿澤新潟本社代表

※議長は社外から選任

地元本位の経営



「KK運営会議」

発電所の新たなガバナンス体制

現地・現物の評価



安全性向上の取り組みが
信頼につながるように
行われているか

2. 柏崎刈羽原子力発電所運営会議の概要

- ✓ 当社の取り組みについて外部から評価・助言いただくようなこれまでの仕組みとは異なり、発電所の運営にまで大きく踏み込んだ会議体とする
- ✓ 具体的には、国内外の専門家と、新潟県に根差した地域団体の代表者・地域経営者の方が、**KK運営方針を策定するプロセスや現場に入り込み**、発電所の安全対策やコミュニケーション活動等、**計画策定の段階から社外の視点や知見をもって議論することにより**、**提言と実践の両輪で発電所の自律的改善を強化**

柏崎刈羽原子力発電所運営会議の概要

名称	柏崎刈羽原子力発電所運営会議（略称：KK運営会議）
設置目的	柏崎刈羽原子力発電所の活動について、社外の視点や知見を積極的に取り入れ、安全・安心で社会の皆さまに信頼いただける発電所運営につなげること
活動内容	- 柏崎刈羽原子力発電所運営方針（発電所の安全・安定運転、地域共創）の審議 - 柏崎刈羽原子力発電所業務計画履行状況（レビュー結果等）の報告を受けた評価・提言 - 柏崎刈羽原子力発電所事業運営の透明性向上につながる対外説明
組織	- 柏崎刈羽原子力発電所事業運営の安全・安心向上に寄与する専門性を持つ、他電力経営者、国内外有識者等、および当社役員等で構成（取締役会が選任） - 社外委員は委員の過半数を占めるものとし、会議議長は社外委員から選任

3. 柏崎刈羽原子力発電所運営会議の委員構成①

- ✓ KK運営会議の議長・委員は、社外取締役を中心とする東京電力ホールディングス **取締役会で選任基準を策定し、取締役会で適任者を決定**
- ✓ 多様なバックグラウンドを持つ社外委員が過半数を占める人選をすることとし、**議長は発電所運営の経験をもとに専門的かつ総合的な提言が期待できる他の電力会社の経営経験者を選任**

KK運営会議 議長	選任の理由
社外委員 佐藤 敏秀（さとう としひで）氏 元 東北電力株式会社 執行役員 東通原子力発電所長 上席執行役員 青森支店長 元 東北エネルギー懇談会 会長 元 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 理事長	• 東北電力株式会社において東通原子力発電所副所長・所長、青森支店長を歴任し、原子力発電所の現場経験・運営経験に基づく原子力安全、立地広報の豊富な見識を有する。 • 東北エネルギー懇談会会長として地域の産業・経済団体と協働して地域共創・地域貢献に努めた経験を有する。

議長の活動

- 議長はKK運営会議の取りまとめを行い、年1回以上、取締役会に活動状況を直接報告
- 定期的な本会議への参加だけでなく、日常的なKKの現場視察・各種会議へのオブザーバー参加等を通じてKKの事業運営を確認し、原子力発電所の現場経験・運営経験に基づく助言を行う

次ページへ続く

3. 柏崎刈羽原子力発電所運営会議の委員構成②

- ✓ 委員には、新潟県に根差した地域団体の代表者・地域経営者を選任し、地域の声を発電所の運営に直接取り入れる

KK運営会議委員	選任の理由
社外委員 【柏崎市在住】 桑原 保芳（くわばら やすよし）氏 荒浜21フォーラム会長 元 柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 会長	・ 柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 第二代会長を3期6年務め、地域・団体の代表的な役割を持って意見を発信する経験を有する。 ・ 現在も荒浜21フォーラム会長として、地域のエネルギー問題に知見が深く、地域共創・地域貢献に係る豊富な見識を有する。
【新潟市在住】 菊野 麻子（きのの あさこ）氏 Kアプローチ代表 フリーアナウンサー	・ 報道関係者としてのキャリアを持ち、マスコミュニケーションの実践に関わる豊富な経験を有する。 ・ 現在も地域経営者・フリーアナウンサーとして、地域・団体の代表的な役割を担い、地域共創・地域貢献に係る豊富な見識を有する。

次ページへ続く

3. 柏崎刈羽原子力発電所運営会議の委員構成③

- ✓ さらに、原子力技術・規制、安全文化、組織マネジメントに関する知見を持つ国内外の有識者・専門家を選任し、**安全を追求する自律的な改善を継続**

KK運営会議委員		選任理由
社外委員	水谷 良亮（みずたに りょうすけ）氏 元 中部電力株式会社 取締役専務執行役員 浜岡原子力総合事務所長 （当社 執行役員 柏崎刈羽原子力発電所所長補佐 2022.4～）	中部電力株式会社において浜岡原子力総合事務所長を長く務め、原子力発電所の現場経験・運営経験に基づく原子力安全、立地広報の豊富な見識を有する。
	伊丹 俊彦（いたみ としひこ）氏 弁護士 元 大阪高等検察庁 検事長 （当社 柏崎刈羽原子力発電所 核物質防護 事案に係る改善措置評価委員会 委員長 2023.6～）	- 検事として、企業の背任・詐欺事件、企業秘密の不正取得事件、独占禁止法違反事件等の捜査・公判に従事・関与。 - 現在も弁護士として、企業等の不正調査委員会、組織改革委員会等に関与し、改善改革事例に豊富な知見を有する。
	チャールズ・カストー 氏 元 米国原子力規制委員会（NRC）上級管理官 （当社 原子力改革監視委員会 委員 2024.4～）	- 米国原子力規制委員会（NRC）上級管理官を務め、外国規制機関の経験等に基づく国際的な技術・規制に係る豊富な見識を有する。 - 福島第一原子力発電所事故後にはNRCの主幹として11ヶ月間日本に滞在。
社内委員	小早川 智明 取締役 代表執行役社長	
	福田 俊彦 取締役 執行役副社長 原子力・立地本部長	
	稲垣 武之 常務執行役 柏崎刈羽原子力発電所所長	
	柿澤 幸彦 常務執行役 新潟本社代表	